

地域の魅力に出会える、やさしい道の駅

道の駅にしじま

和紙の里

かみすきパーク



地域に開かれた、

あたらしい道の駅

令和7年4月、身延町西嶋地区に新しい道の駅「にしじま和紙の里かみすきパーク」が誕生しました。田園風景に包まれ休憩だけでなく地域の文化や暮らしに触れゆったり過ごせる体験型の道の駅です。

敷地は円形の芝生広場を囲む配置で「たべもの館」「かみすき館」「ふれあい館」が連携し家族連れでも過ごしやすい施設になっています。

身延の食と農を味わう

食事処の「たべもの館」では、身延町特産のあけぼの大豆や湯葉・季節の野菜を生かした料理が味わえ、にしじま味噌ラーメンやゆば丼などここならではのメニューが並びます。

また、来訪客に人気の農産物直売所は、「たべもの館」から「ふれあい館」へと移設され従来の7倍の面積に拡大しています。直売所の充実により農と食の体験がさらにパワーアップし、訪れる楽しみが広がります。





身延町の風土が育てた特別な大豆 「あけぼの大豆」

あけぼの大豆は身延町で百年以上育まれた在来の大粒大豆。糖類、とりわけシヨ糖が多く甘みが際立つ「幻の大豆」で、令和4年3月にGI（地理的表示）登録されました。GIは、地域の自然・文化に根差した特性をもつ産品の名称を国

が登録・保護し、「本物」であることを示す制度です。

GIは、消費者には信頼の目印を生産者には模倣防止とブランド価値の向上をもたらします。手に取る時は、「あけぼの大豆」名称とGIマークに注目してみてください。

西嶋和紙にふれ、

つくる楽しさを知る

この地に根づく西嶋和紙をテーマにした体験も大きな特色です。「かみすき館」では紙づくりにつながる展示が豊富で紙漉き体験や書道体験も可能で、子どもから大人まで楽しく学べます。シヨップでは和紙製品やお土産もそろい、見て・作って・持ち帰るまでを一連の体験として楽しめれます。

事例から見える
成功のカタチと、
かみすきパークへの期待

県内外の事例を見ると地産地消をコンセプトにした食と直売。そして体験や交流を組み込んだ滞在型のつくりを持つ道の駅が長く支持される傾向があります。単なる買い物場ではなく、地域の文化や暮らしに触れられる目的地として機能することが鍵です。

こうした視点で見ればこの施設は、和紙づくりの体験を中心に地元食材を味わえる飲食・直売、家族で安心して過ごせる空間が自然につながっています。だからこそ今後の成長にも大きな期待が寄せられます。

旅の途中にも、

日常の中にも

国道52号の沿線、中部横断自動車道六郷インターチェンジから車で5分足らず。また、中央高速バス新宿線の停留所にも近いことから身延町の北の玄関口としての役割も期待されています。

また、車中泊に対応しているため観光の拠点になるのはもちろん直売所と合わせて、近隣地域の日常づかいの場所としても活用しやすい立地です。



ゆっくりと地域と つながる拠点として

伝統文化、食、交流がほどよくつながる、あたたかみのある道の駅。ちょっとした休憩から一日のお出かけまで、それぞれの楽しみ方ができる場所として、身延の魅力を外に伝えていくーそんな役割を担う拠点です。